

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 6 月 10 日現在

機関番号：34310

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2011～2015

課題番号：23520341

研究課題名(和文)フロスト書簡集編纂プロジェクト

研究課題名(英文)Robert Frost Letters Project

研究代表者

RICHARDSON Mark (Richardson, Mark)

同志社大学・文学部・教授

研究者番号：30388053

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,500,000円

研究成果の概要(和文)：他の三人の研究者と共に、アメリカ詩人口バート・フロスト書簡集・5巻本(ハーヴァード大学出版局)の編纂に取り組んでいる。第一巻The Letters of Robert Frost, Volume 1は、2014年に出版され、英米で高い評価をもって迎えられた。かつてこれほど多くの書簡を収録したフロストの書簡集は出版されたことがなく、この企画は先例のないものであり、この新版の書簡集が20世紀アメリカ詩研究の地平を塗り替えることとなるものと確信している。第2巻は、現在校正を進めており、2016年9月に出版を予定している。続く3巻、4巻、5巻も2020年までに出版される計画である

研究成果の概要(英文)：With three other scholars (two based in the U.S., and one in Japan), I am preparing a five-volume edition of the letters of the American poet Robert Frost (1874-1963), the first instalment of which was published in 2014, to very good reviews in America and England: The Letters of Robert Frost, Volume 1: 1886-1920 (Cambridge, Massachusetts: Harvard University/Belknap Press). No proper edition of Frost's collected letters has ever been prepared; this project is completely unprecedented. Given the range, complexity, and brilliance of Frost's correspondence, I have reason to expect that this new edition of the letters will alter the landscape of 20th century American poetry. The Letters of Robert Frost, Volume 2: 1920-1928 (Cambridge, Massachusetts: Harvard University/Belknap Press) is in production now (spring 2016) and will be published in September 2016. Volumes 3, 4, and 5 will follow between now and 2020.

研究分野：英米文学

キーワード：ロバート・フロスト 現代詩 アメリカ詩人 20世紀アメリカ文学

1. 研究開始当初の背景

フロストの書簡編集は、過去 26 年の間に私が遂行してきた研究を補うものであり、同時にこれまでの研究を、更に発展させようとするものである。かつて Richard Poirier と共に the Library of America 版の *Frost's Collected Poetry, Prose & Plays* (New York, 1995) の編集に携わった。この版は、現在、詩人研究の標準的資料として、教育現場はもちろん、詩人の研究がおこなわれているあらゆる場で、研究者たちに利用されている。この時の経験をもとに、編集に関して詳細な情報を記した拙論 “Editing Robert Frost” は、*Robert Frost Review* (Fall 2000): 84-124 に掲載された。今回のハーヴァード大学出版局版 *The Collected Prose of Robert Frost* の編者としての仕事は、こうしたテキスト編集に関する私の経験をさらに前進させるものである。文学研究者として、フロスト研究に従事するようになったのは、既に 1997 年に遡り、その年にイリノイ大学出版局から、拙著 *The Ordeal of Robert Frost: the Poet and the Poetics* を出版している。長年フロスト研究に従事してきたことから、今回の企画を構想し、ハーヴァード大学出版局から出版の運びとなった。

2. 研究の目的

フロスト書簡集プロジェクトの目的は明確である。フロストが生前に書いた何千通もの書簡から、現存していることが確認できるすべての書簡を集め、編纂し、注釈を付けたうえで、5 巻本として出版することである。既に記したように、*The Letters of Robert Frost, Volume 1: 1886-1920* は、2014 年に出版された。続く *The Letters of Robert Frost, Volume 2: 1920-1928* は、現在校正を進めており、2016 年 9 月には、出版予定である。過去 10 年の歳月の間に、私と共編者たちは、3,200 通以上の書簡のコピーを、90 に及ぶ文書館や収蔵館から収集してきた。書簡の日付は 1886 年から 1963 年（詩人の他界した年）にわたっている。最初の 2 巻だけでも 1,134 通の書簡を掲載しており、そのうち 600 通以上が、かつて知られたことのなかった、未公開のものである。全 5 巻が完成すれば、詩人の伝記作家、批評家、教育者、そして学生にいたるまで、あらゆる人々にとって、かけがえのない資料となるはずである。

3. 研究の方法

過去 10 年間に、全米の 90 に及ぶ文書館や収蔵館を調査し、フロストの残した書簡を探索し、3,200 通以上の書簡のコピーを収集してきた。今回の *The Letters of Robert Frost* は、書簡の「ディプロマティック・トランス

クリプト (“ diplomatic transcripts ”) を提供するもので、書簡の「タイプ・ファクシミリ (“ type facsimiles ”) 」とは異なる。テキスト研究者の D.C. Greetham は、著書 *Textual Scholarship* (Garland, 1994) の中で後者について、「書簡のタイプ・ファクシミリ (“ type facsimiles ”) は、書き写すことによって、もとの行送りや、文字のサイズ、文字の形などの特徴を活かし、現物の物理的な体裁を再現しようとするものである」(350) としている。しかし現代の書簡を編集するにあたって、特にフロストの書簡を編集する際には、書簡のタイプ・ファクシミリを提供する必要性はほとんどないといってよい。フロストの書簡原稿の大部分が、タイプされた原稿も含めて、合衆国中の文書館に散在している何千もの書簡が、多かれ少なかれ当時の手紙の書き方の作法にのっとって書かれている。フロストの自筆原稿やタイプで打たれた書簡のページに見られる傾向が、特に「重要な意味」を持っているとは言えない。したがって私たちの編集チームでは、書簡のタイプ・ファクシミリ (“ type facsimiles ”) ではなく、書簡のディプロマティック・トランスクリプト (“ diplomatic transcripts ”) をすなわち、詩人が意図したであろう文書の清書版を彼の施した修正もすべて組み入れた形で、再現することを心掛けた。書簡集 *The Letters of Robert Frost* の第一巻・第二巻で採用されたこの手法は、他の巻でも継続されるであろう。

4. 研究成果

The Letters of Robert Frost, Volume 1: 1886-1920 は、*The New York Times*, *The Times Literary Supplement* (London), *The London Review of Books*, *The New Yorker*, *The Boston Globe*, *The Chronicle of Higher Education*, *The Wall Street Journal*, *The Georgia Review*, *The New England Quarterly*, *The New Criterion*, *Kirkus*, *Publishers Weekly*, *Prospect* (UK) の各紙上、またラジオ放送 National Public Radio (U.S.) などで高評を得た。詩人の Paul Muldoon は、*Times Literary Supplement* において 2014 年の Book of the Year と評してくれている。私自身も 2014 年 3 月 12 日に Radio Boston でインタビューを受け、番組は NPR 'S Boston と提携する WBUR によって放送された。2016 年に、第二巻が出版されれば、第一巻同様、高評をもって迎えられようと思う。

また書簡集プロジェクトは、過去数年間の私の業績に、副産物も与えてくれた。詩人に関する 40 の論文を収録した *Robert Frost in Context* (New York: Cambridge University Press, 2014) の編者としての仕事である。(編集の仕事の他に、私は序章と 2 本の論文を執筆、更に別の 1 本の共著者となっている。) 書

物は、フロストを読むにあたって、広範囲にわたる、新たなコンテキストを提供するものである。もちろんこの企画は直接フロスト書簡集と関連するものではないかもしれないが、既に研究されている分野を活性化させることを目標とする点においては、互いに関連があるといえるであろう。その他、*The Cambridge Companion to American Poets* (New York: Cambridge University Press, 2015) の編者も務めた。この書では、編集作業の他に、序章とフロストに関する章を執筆した。

学会や対談での研究発表も精力的に行ってきた。詩人の孫娘である Lesley Lee Francis によって開催されるシンポジウムでは、毎年、招待講演を行っている。毎年、the American Literature Association および the Modern Language Association の大会には欠かさず出席し、そこでフロスト及びその他の作家に関する研究発表を行ってきた。また招待講演として、the Robert Frost Stone House Museum (South Shaftsbury, Vermont, 2008年8月17日)、the 92nd Street Y in New York City (共編者の Donald Sheehy と共に、2014年3月16日)、および Dalhousie University (Halifax Canada, 2014年11月7日)の三つの講演をおこなった。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 7件)

Mark Richardson “Amicus Curiae for my iPhone 5,” “Why Movie Facts Prevail,” and “Itinerary.” *Studies in American Culture* 38.1 (October 2014): 101-104. A set of three poems.

査読有

Mark Richardson “English Departments II.” Second installment of a two-part essay. *Doshisha Studies in English*. No. 93 (March 2014): 1-25.

査読有

Mark Richardson “English Departments I.” First installment of a two-part essay. *Doshisha Studies in English*. No. 92 (January 2014): 1-56.

査読有

Mark Richardson “Wondering About Shakespeare.” *Doshisha Studies in English*. No. 90 (January 2013): 1-35.

査読有

Mark Richardson “Wallace Stevens’ Peculium.” *Doshisha Studies in English*. No. 88 (March 2011): 77-94.

査読有

Mark Richardson “Mountain Intervals; or, an Episode in the Annals of American Philology.” Co-edited with James Barszcz. *College Hill Review: An Online Quarterly Exploring Style in the Arts and Humanities*. No. 6: Fall 2010. Web.

査読有

Mark Richardson “Meddling in Crime and Wordsworth.” *College Hill Review: An Online Quarterly Exploring Style in the Arts and Humanities*. No. 5: Winter-Spring, 2010. Web.

査読有

[学会発表](計 6件)

Mark Richardson “My knees are laughing. Is that allowed?: The Curiosities of Nicholson Baker’s Prose.” Paper delivered at the annual convention of the American Literature Association. Boston, Massachusetts. May 21-24, 2015.

Mark Richardson “The Varieties of Frost’s Religious Experience.” Delivered as part of the Departmental Speakers Series, Department of English, Dalhousie University, Halifax, Canada. November 7, 2014.

Mark Richardson “The Letters of Robert Frost,” lecture delivered jointly with my co-editor, Donald G. Sheehy, at the 92nd Street Y in New York City, March 16, 2014.

Mark Richardson “The Natural History of Frost’s Poetics.” Paper delivered at the annual convention of the American Literature Association. Washington, DC, May 22-25, 2014.

Mark Richardson “In Frost’s Dive.” Paper delivered at the annual convention of the American Literature Association. Boston, Massachusetts. May 27-29, 2011.

Mark Richardson “The Figure Frost’s Prose Makes.” Paper delivered at the annual convention of the American Literature Association. San Francisco, California. May 28-30, 2010.

[図書](計 8件)

Contributing editor. *The Cambridge Companion to American Poets*. New York: Cambridge University Press, 2015.

Contributing editor. *Robert Frost in Context*. New York: Cambridge University Press, 2014.

Co-editor, with Donald Sheehy and Robert Faggen. *The Letters of Robert Frost, Volume I: 1886-1920*. Harvard University Press, 2014. First of a five-volume edition.

Editor’s Introduction and chapter on Robert Frost. In Mark Richardson, ed., *The Cambridge Companion to American Poets* (New York: Cambridge University Press, 2015): 1-9; 160-171.

Co-authored with Joseph M. Thomas. “The Figure Frost’s Prose Makes.” In Mark Richardson, ed. *Robert Frost in Context* (New York: Cambridge University Press, 2014): 14-28.

Mark Richardson “The Post-Reconstruction Frost.” In Mark Richardson, ed. *Robert Frost in Context* (New York: Cambridge University Press, 2014): 180-189.

Mark Richardson, “Frost and the Institutionalization of Poetry.” In Mark Richardson, ed. *Robert Frost in Context* (New York: Cambridge University Press, 2014): 288-296.

Mark Richardson 「活力を保ち続ける ロバート・フロストと老いること」寺尾 勝行 訳。金澤 哲編著『アメリカ文学における「老い」の政治学』（松籟社,2013）,77 - 121 頁。 English title of the essay: “Staying Alive: Robert Frost and Aging.” [2013]

〔産業財産権〕
出願状況（計 0 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況（計 0 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

マーク・リチャードソン (Mark Richardson)
同志社大学・文学部・教授
研究者番号：30388053

(2) 研究分担者 なし

()

研究者番号：

(3) 連携研究者 なし
()

研究者番号：